

春を告げる作業開始 「ネモフィラ」の霜よけシートを外します

国営アルプスあづみの公園【大町・松川地区】では、春の訪れを告げる取り組みとして、3月20日頃から「ネモフィラ」の霜よけシートを外し始めます。実施日は天気予報を見ながら生育状況を最優先に調整し、開花に向けた管理を丁寧に進めます。園内にはひと足早く春の気配が漂い、可憐なブルーの花が広がる光景に向け、来園者のみなさまをお迎えする準備が始まります。



霜よけシート設置状況 (2026/3/15 撮影)

◆凍害懸念も生育良好

今季は降雪が少なく、雪による保温層が得られないことから凍害が懸念されましたが、霜よけシートによる保温と乾湿緩和により、生育は概ね順調です。現在、シート越しに唐草模様に似たネモフィラ特有の切れ込み葉が均一に展開しており、株張りは平年並み〜やや良好です。気温が平年並みに推移した場合、開花は4月下旬に始まり、見ごろは5月上旬〜中旬を見込んでいます。

◆花畑 2,500㎡へ拡張

「れき原の花畑」にネモフィラを植栽。昨年度はチューリップとのコンビネーションでしたが、本年度はネモフィラ一色へと刷新。さらに花畑も拡張し、面積は1,500㎡・約4万株から2,500㎡・約6.3万株へと大幅に増加しました。青一色の花畑に、乳川扇状地特有のれき(石)が点在する風景は、当公園ならではです。



シート下のネモフィラ (2026/3/15 撮影)



ネモフィラ (2025/5/8 撮影)

〈ネモフィラ〉

■場所/れき原の花畑 ■面積/2,500㎡ ■株数/6.3万株 ■品種/インシグニスブルー

◆ネモフィラとは？

ネモフィラは北アメリカ原産のムラサキ科(旧ハゼリソウ科)ネモフィラ属の一年草。瑠璃色の花と唐草模様に似た葉から和名は「瑠璃唐草」、中心が白い小さな青い花姿から英名は「Baby blue eyes」。属名はギリシャ語の「ネモス(小さな森)」と「フィレオ(愛する)」に由来します。

Information

クリスマスローズ「ヘレボルス・チベタヌス」の花芽が上がってきました

お問い合わせ

アルプスあづみの公園管理センター 大町・松川地区 企画運営担当:尾澤

〒398-0004 長野県大町市常盤 7791-4 TEL:0261-21-1212 FAX:0261-21-1214

https://www.azumino-koen.jp/oomachi_matsukawa/ 公園公式SNSもご覧ください

